

## 平成30年度 大分市立滝尾小学校 学力向上プラン（8月）

	学力状況について	学習状況について
<b>児童生徒の状況・課題</b>	<p>○1学期単元末テスト国語、算数、理科の平均点が85点以上、C層（60点未満）8%未満</p> <p>結果は、</p> <p>【国語】 全校平均87点 C層3%</p> <p>【算数】 全校平均87点 C層4%</p> <p>【理科】 全校平均82点 C層6%</p> <p>国語・算数では、全校平均が目標値の85点を超過している。また全教科で、C層が設定値を下回ることができている。</p> <p>○大分県学力定着状況調査（現5年生対象）</p> <p>結果は、</p> <p>【国語】 知識～本校81.7（目標値72.6） 活用～本校57.8（目標値52.0）</p> <p>【算数】 知識～本校74.4（目標値70.5） 活用～本校58.9（目標値56.3）</p> <p>【理科】 知識～本校84.2（目標値73.4） 活用～本校62.4（目標値55.7）</p> <p>すべての教科で、知識・活用ともに目標値を上回っている。</p>	<p>○授業中「考えが伝え合えた」と考える児童 90%以上</p> <p>○授業後「分かった・できた」と考える児童 90%以上</p> <p>○家で決められた時間勉強している児童 90%以上</p> <p>○家で決まりを守ってメディアを使用する児童90%以上</p> <p>結果は、</p> <p>○授業中「考えが伝え合えた」と考える児童 95%</p> <p>○授業後「分かった・できた」と考える児童 90%</p> <p>○家で決められた時間勉強している児童 83% (75%)</p> <p>○家で決まりを守ってメディアを使用する児童 89% (76%)</p> <p>※ 左は児童の回答、右の（ ）は保護者の回答</p> <p>「考えが伝え合えた」と回答する児童が、昨年度より大幅に増加した。フレンドタイムのエンカウンター的な伝え合い活動や親和的な学級の雰囲気などにより、話すことへの抵抗感が減ってきていると言える。また、授業の中でのグループでの話し合い活動のパターン化・話型の定着が成果として表れつつあるとも考えられる。</p>
<b>指導の状況・課題</b>	<p>○国語科の「言葉の特徴やまきりに関する事項」の指導の徹底を図っている。 →朝のチャレンジタイムで漢字・視写・群読・文章題の読み取りの継続指導を行っている。</p> <p>○算数科の「速く正確な計算力」がつくよう各学年の指導の徹底を図っている。 →計算力の定着・向上のため朝のチャレンジタイムで継続指導を行っている。 →授業開始時に短時間でできる復習問題を実施している。「振り返り」の時間を有効に使っている。 →C層への補充指導（放課後や空き間等を使った習熟指導）をおこなっている。習熟度授業では、2クラスを3教室に分けた指導も行っている。</p> <p>○理科では、週末の課題プリント、自学でのテスト勉強、テスト前の総復習タイムなどの取組みにより、C層が大きく減少した。今後も継続して取組み、定着を図ると同時に、目標値を上回るようにしていきたい。</p>	<p>○「1時間完結」型授業の取組の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあて、課題、まとめ、振り返りを明確に位置付けた授業の100%実施をめざしたが、56%に止まった。振り返りを授業にどう定着させるかが課題である。</li> <li>○ペアやグループによる学び合い活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日1回以上、授業の中に考えを書く・交流する場を設定している。「学び合い」の受け止め方に教師も児童も課題が残る。</li> </ul> </li> </ul> <p>○学習規律の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れ物0、チャイム着席。「聞く・話す・発表」などの学習ルールの定着は確実に進んでいる。</li> <li>・忘れ物については、児童による継続した点検活動を実施している。</li> </ul> <p>○家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭学習の手引き」を利用した児童への指導と保護者啓発</li> <li>・計画メディアの取組は、家庭との協働をめざし、PTAから児童、家庭への提案という形で3回実施した。児童も保護者も「メディアの時間を減らしたことが、読書や会話の時間の増加につながった。メディアとの付き合い方を考えるよい機会になった。来年度も引き続き実施したい。」と評価をもらっている。</li> </ul> <p>○読書習慣の定着に取組んでいる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホップ、ステップ賞推奨、図書館利用時間の確保</li> <li>・図書館まつりによる読書活動の推進</li> <li>・本わかタイム（読み聞かせ）</li> <li>・夏季休業中の図書館開館</li> </ul>
<b>目指す児童生徒像</b>	<p>○単元末テストで国語、算数、理科の平均点が85点以上、C層（60点未満）5%未満</p> <p>○「考えが深められた」と回答する児童 90%以上</p>	<p>○授業中「自分の考えが伝えられた」と回答する児童 85%以上</p> <p>○授業後「分かった・できた」と回答する児童 90%以上</p> <p>○家で決められた時間勉強している児童 90%以上</p> <p>○家で決まりを守ってメディアを使用する児童 90%以上</p>

<p>今後の 具体的な 取組</p>	<p><b>①授業改善の取組</b>  ○学習規律のさらなる徹底  ・机上の準備とチャイム着席 ・けじめのある授業のあいさつ ・椅子の座り方 ・話す時間く時の基本的ルール  ○3つの授業改善と[主体的・対話的で深い学び]の実践  ・「1時間完結」型授業の徹底 &lt;めあて、課題、まとめ、振り返り&gt;の位置づけ  ・板書の構造化(学習の振り返りができる板書) 板書とノートの一体化  ・互見授業の実施  ・習熟度別授業などの学習形態の取り入れ方と工夫 個に応じた指導の徹底  特に算数科(3、4、5、6年)における習熟度別授業の実施の工夫  ・課題解決学習における問題発見から解決に至るまでの一連のプロセスの中で、思考・判断・表現力の育成を意識した学習展開</p> <p><b>②その他の学習指導の取組(補充指導・家庭学習指導・読書指導・教育課程の工夫等)</b>  ○1時間完結型授業内での「振り返り」の時間の確保と充実  ○ノート指導の徹底  ○伝え合い活動の取り入れ方と工夫  ○評価規準をもとにした、単元末定着度評価の実施  ○学習部会(週1回)による指導内容の充実  ○学年末に標準学力調査実施(3、4年生の実施)とフォローアップシートによる弱点克服</p> <p><b>③学習状況改善の取組</b>  ○月一回以上のコミュニケーションスキルを養う「フレンドタイム」の実施  ○学習規律の徹底(聞き手に伝わるように話すこと、話し手の意見を最後まで聞くこと等、学びの基盤としての学習規律を児童に定着させること)  ○家庭学習の習慣づけに向け、メディア使用の時間等、時間の使い方の見直しを指導  ○自分なりの具体的な目標を立て、目標に向かって粘り強く努力できる生活態度の確立</p>
<p>家庭・ 地域と の協働</p>	<p>○家庭との協働  ・家庭は、「家庭学習の手引き」を通して、学習の習慣化と既習事項の習熟を図る。  (毎日の学習時間=学年×10+10分の達成)  ・家庭は「計画メディアカード」の活用を通して、規則正しい生活を身につけさせる。  (個人・学年の目標設定によるTVやゲームの時間設定)  ○地域との協働  ・地域学習ボランティアによる基礎基本の補充学習と本わかタイム(読み聞かせ)の充実  ・授業公開及び地域との交流(年間4回の学校公開日を設定)  ・体験学習等で地域に出かける活動や、地域の人と交流を持つ活動の充実</p>